

実践報告:史の会

史の会代表 江刺昭子



神奈川県立かながわ女性センター(1982-2015 藤沢市江の島)

目次

I 史の会の歩み

- 史の会の活動
- 『史の会研究誌』全6冊の刊行(自費出版)

II 『時代を拓いた女たち』刊行(神奈川新聞社)

- 全3冊に掲載した人物について

III 「史の会資料」をNWE Cに寄贈

- 寄贈までの経過
- 資料整理とデジタル目録データの作成

史の会とは

- かつて神奈川県は、女性政策のトップランナーと言われた。国際女性年をきっかけに、他県に先駆けて県レベルで初めての女性史を編纂。県と専門家と県民(ワーキンググループ)の三者が共同して編纂した『夜明けの航跡—かながわ近代の女たち—』(1987年)は、住民参加の女性史編纂が全国に広がる先行事例になった。
- 編纂に際し専門委員だった江刺昭子がワーキンググループに呼びかけて、1988年に14人で発足したのが史の会で、代表は江刺。
- 神奈川の近・現代の女性史の研究を目的に、女の目と地域の目で、あたりまえの女たちを対象に、女性解放の視点を大切にすることを共通認識として出発。会員各自が調査、研究して小論文を研究誌に発表することを目標にした。例会で資料収集や取材の進捗状況の報告、話しあいを積みあげる共同学習方式。

史の会の活動(1)

- 1989年 6月～神奈川県女性史後編の編纂に参加
- 1991年 8月 『史の会研究誌～大正の響きをきく～』刊行(創刊号)
- 1992年11月 『共生への航路—かながわの女たち'45～'90』刊行記念シンポジウム
- 1993年10月 『史の会研究誌～時代のうねりを見つめて～』刊行(2号)
- 1994年 3月 史の会シンポジウムと女性史グループとの交流会
- 1996年 7月 史の会研究誌～時代の目覚めをよむ～』刊行(3号)
- 1997年 3月 史の会シンポジウムと交流会
- 1998年 9月 「第7回全国女性史研究交流のつどい in かながわ—新ミレニアムへの伝言」をかながわ女性センターで開催、実行委員・事務局として参加
- 1998年11月 3回連続「女性団体自主講座」開催、テーマは「古い」
- 2000年～ 女性センターに女性史資料室設置を要請、資料について学ぶ講座を開催
- 2001年 2月 史の会研究誌—女たちの物語を再生する』刊行(4号)

『共生への航路—かながわの女たち '45～'90』が完成
1992年11月



『史の会研究誌』創刊号
発刊記念シンポジウム
1994年3月3日



「第7回全国女性史研究交流のつどい in かながわ」

1998年9月5日～6日、かながわ女性センターで「第7回全国女性史研究交流のつどい in かながわ—新ミレニアムへの伝言」を開催。「女性史資料の保存・公開についてのアピール」を出す。史の会会員は実行委員、事務局員として参加。



史の会の活動（2）

- ・2001年 7月 「女と男、共に拓く地域の歴史—研究発表と地域女性史交流会」開催
- ・2001年 8月 「第8回全国女性史研究交流のつどい・岐阜」に参加（以後、毎回）
- ・2002年 9月～ かながわ女性センターの移転問題が起こり、センター図書館の蔵書の散逸を防ぐため、県、女性センターに働きかけ
- ・2005年 4月 『時代を拓いた女たち』第Ⅰ集刊行、出版記念会
- ・2008年 1月 『神奈川新聞』で「魅せた！かながわの女—史の会が描く群像」連載開始（～2010年2月）
- ・2008年 6月～ 蔵書の保護、アーカイブ設置を求め署名活動、県議会への陳情など
- ・2009年 2月 女性センターにアーカイブ設置を求める署名簿を県に提出
- ・2009年10月 「地域女性史交流 in かながわ—鎌倉・厚木・小田原の女性史刊行を記念して」を開催

史の会の活動（3）

- ・2011年 6月 『時代を拓いた女たち—かながわの111人』Ⅱ集刊行、記念講演
- ・2012年 8月 センター図書館に『時代を拓いた女たち』Ⅰ、Ⅱ集の資料受け入れが決まり、リスト作成開始→14年8月、資料と電子データ目録を寄贈
- ・2013～14年 女性センターの移転が決まり、蔵書の散逸を防ぐための交渉を重ねる→15年、女性センターは藤沢市鶴沼に、図書館は横浜市に移転
- ・2016年 5月 『史の会研究誌～「武相の若草」を読む～』（5号）刊行
- ・2019年 7月 『時代を拓いた女たち—かながわの112人』Ⅲ集刊行
- ・2020年 7月 『史の会研究誌～振り返りつつ、今をよむ』（6号）刊行、12月、刊行記念シンポジウムと交流会「かながわの女性の明日を拓く」開催
- ・2021年11月 地域女性史研究会主催・史の会とかまくら女性史研究会共催で、横浜男女共同参画センター（戸塚）にて「第16回例会〈神奈川〉」開催

『史の会研究誌』第6号発刊記念シンポジウム

2020年12月16日 横浜開港記念会館

- 1部 シンポジウム「神奈川の女性の明日を拓く」
(嶋田昌子・室谷千英・江刺昭子)
- 2部 県内の8女性史研究グループが活動報告



『史の会研究誌』第6号発刊記念シンポジウム

神奈川の女性の明日を拓く

2020年12月16日(水) 13:00開演 13:30~16:30
会場: 横浜開港記念会館 (☎045-201-0708)

第1部 講演とシンポジウム

13:00-13:30 開演式
13:30-14:00 講演
14:00-14:30 シンポジウム
14:30-16:30 報告

第2部 グループ報告会

「かまくら女性史の会」グループ発表、各女性史研究グループ「各自の活動報告」

主催: 史の会・共催: かながわ女性史研究会

お問い合わせ: 045-201-0708

「地域女性史研究会 第16回例会〈神奈川〉」

共催: 史の会・かまくら女性史の会

2021年11月27・28日 27日は横浜市男女共同参画センターフォーラム横浜にて

- 27日 報告 横松佐智子「日本バレエの母といわれる亡命ロシア人 エリアナ・バヴロバ」
江刺昭子「明治横浜におけるキリスト教の受容と女性の社会事業」



28日 歴史散歩 (横浜山手周辺)



写真提供: 地域女性史研究会 川崎俊子氏

『史の会研究誌』1~6号



創刊号『史の会研究誌~大正の響きをきく~』

1991年8月刊行 B5判211ページ 論考14本

大正期が共通テーマ

「未知なる世界=フェリス和英女学校に集まった少女たち」「ますら男ならぬ女とて一横須賀高女の初期の教育」「自己と時代に目醒め、使命に生きた女たち一横須賀市小学校女教員会について」「大正期の中等教育を担った実業補習学校一高座郡を中心に」「皇国の母たちの少女時代一鎌倉郡の処女会」「県内生活改善運動の実態」「罪深き女なれども……『新しい女』の姑斬り事件」「『横浜貿易新報』にみる大正期一目覚めと社会通念のはざま」「白金の途を選んだ小鳥一髪髪洋装の作家・大橋房」「雷婆さんと呼ばれても一二宮わかと安次の社会事業」「女たちの軍事援護活動一渡辺たまを中心に」「富士瓦斯紡績保土ヶ谷工場で働いた女性たち」「大正期・神奈川県における自殺者の動向」「大正期『横浜貿易新報』にみる神奈川の娼妓たち」

2号『史の会研究誌～時代のうねりを見つめて～』

1993年10月刊行 B5判276ページ 論考13本

「フェリスにおける天皇制」「横浜地域における実業補習学校」「女教員会のゴッドマザー―石川ふさの生涯―」「横須賀の実科高等女学校―田浦実科高女を中心に―」「『女学世界』に咲いた花―内藤千代子について―」「モザイクの海へ―大橋房の作品について―」「あなたは・たとえば・大輪のカトラー『痴人の愛』ナオミのモデル 小林せい子の虚像と実像―」「港の別れ―横浜時代の福田英子―」「神奈川の青鞥社・新婦人協会―付録・岩淵百合小伝―」「横浜の初期看護婦養成」「根岸の丘の赤病院―横浜婦人慈善会を支えた女性たち―」「『神奈川新聞』にみる女性の動き―太平洋戦争開戦前夜―」「明治前期新聞にみる神奈川の娼妓たち―解放への途いまだ遠く―」

3号『史の会研究誌～時代の目覚めをよむ～』

1996年7月刊行 B5判276ページ 論考10本

「女による 女のための活動―横浜婦人矯風会の五〇年―」「時代に目醒めハマに集った女たち―横浜市小学校女教員会について―」「笛は吹かれたが……―大正期における県内生活改善運動の実態―」「紅蓼の花のすがしさ 菊池ミツ―女性解放運動から平和運動へ―」「横浜ベル・エポックの女 北林余志子」「神奈川の文学に見る学校風景」「『性の奴隷』解放への闘いと苦悩と―神奈川県廃娼運動の史的考察―」「縁かがりで綴った―二〇年―横浜スカーフの歴史を支えた女たち―」「女性の政治参加―藤沢市の戦後―一〇年―」「二〇世紀を学ぶ中学生―イギリスの歴史教育―」「史の会のあゆみ」

4号『史の会研究誌～女たちの物語を再生する～』

2001年2月刊行 B5判248ページ 論考9本

資料紹介

「基地に生きる女性たち―横浜・横須賀の基地と買売春―」「花嫁道具はボロとつけもの石―横浜の『大陸の花嫁』訓練所―」「しなやかに そして たくましく―草分けの女性洋画家・亀高文子の生涯―」「アレキサンドライトの呪縛を越えて―女優・衣川孔雀小伝―」「神奈川に見る女医の軌跡」「繭と生糸に働く女性たち―高座郡に見る養蚕・製糸業―」「婦選獲得同盟と神奈川県―付録 大内光枝小伝―」「不屈の求道者・溝上泰子」「地域女性史編纂の問題点―『千代田区女性史』を編纂して―」「歌人 杉浦翠子に関する新事実」

5号『史の会研究誌～「武相の若草」を読む～』

2016年5月20日刊行 B5判 275ページ 論考7本

年表、史料紹介など

「『武相の若草』発行年月日」「神奈川県・郡・市・町・村地図」「『武相の若草』一六七冊を概観する」「神奈川県連合女子青年会の誕生とその後の活動」「高座郡における処女会・女子青年会の活動」「寄稿・投稿に見る期待される女子青年像」「文芸欄に見る農村女子の暮らしと願い」「女性公務員の先駆け―井上常子と女子青年会―」「女子青年会指導者から花嫁学校経営へ―原モトの軌跡―」「『武相の若草』会況欄年表解説」「『武相の若草』会況欄年表」「史料紹介 ささきふさ（大橋房）の書簡及び学生時代の作文など」

「史の会27年のあゆみ」

「地域女性史アーカイブス設置を求めて―史の会の活動を中心に―」

6号『史の会研究誌～振り返りつつ、今をよむ～』

2020年7月21日刊行 B5判186ページ 聞き書き4本 評伝6本
(聞き書き)

「小野静枝・横浜の大空襲を記録し、のちの世に伝える」「室谷千英・神奈川県
の女性政策を担う」「嶋田昌子・活動の始まりは本牧の海から」「岡江照
子・かながわ女性センターで生涯学習を担う」

(評伝)

「高松ミキと座間村女子青年会の活動―『熱と愛』で駆け抜けた一〇年―」「横
浜のベル・エポックの時代を生きる―西川千代の足跡―」「金森トシエが求めた
男女平等社会―ジャーナリストとして、行政官として―」「能楽師富山禮子の世
界―女性能楽師の歴史を切り拓く―」「西條節子の華麗な『終活』―学び・創
り・住む―」「牧野薊と牧野家の女たち―横浜開港以来の国際派一族―」

(女性史とわたし) 会員

『史の会研究誌』は、インターネットで見られます

・2013年5月、NPO法人「ウィメンズ アクション ネットワーク (WAN)」のサイト上にミニコ
ミ電子図書館が開設されました。日本のフェミニズムを草の根で支えた紙媒体のミニコミ誌を電子化
することで、世界中のどこでも、いつでも、誰でも自由に見ることができます。ネット上に女性問題
や女性史の書庫ができたということになります。

『史の会研究誌』1～6号もアーカイブ化し、ミニコミ電子図書館に収蔵してもらいました。閲覧を
希望する方は、「WAN、史の会」で検索して「ミニコミ電子図書館>団体一覧>史の会」ページにアク
セスしてください。

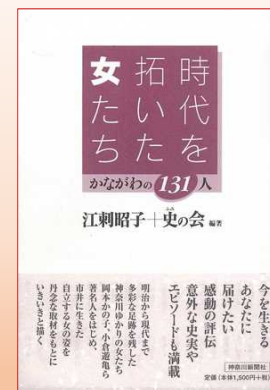
URL:

https://wan.or.jp/dwan/search?keyword=&dantai_name=%E5%8F%B2%E3%81%AE%E4%BC%9A&pref_id=0&minicomi_name=%E5%8F%B2%E3%81%AE%E4%BC%9A%E7%A0%94%E7%A9%B6%E8%AA%8C&x=21&y=6&start_year=1992&end_year=0#gsc.tab=0

『時代を拓いた女たち』全3冊刊行

- ・神奈川県をテーマに研究活動が続けながら気になったのは、既刊の歴史書に
ほとんど女の視点が欠落していること。『神奈川県史別巻 人物編』は、掲載人
物4470人中女は146人、3.6%。その約半分の近・現代の70人余も中央で有名な人
が多い。それなのに孝女・節婦が7人も入っている。
- ・これまで史の会が積みあげてきた研究成果をもとに神奈川県女性人物事典を企画し、
2001年からカード作りを開始して700人余を作成。その中から、近・現代の神奈
川県で成育し、学び、なんらかの社会活動をした人を選んで生涯を簡潔にまとめ、
時代の中での位置づけを明らかにし、エピソードや写真も入れて文章化。例会で
繰り返し意見交換し、文章を練りながら書きあげたミニ評伝集。
- ・I集 131人、II集 111人、III集 112人、計 354人

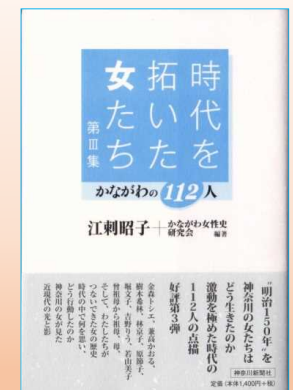
ミニ評伝集『時代を拓いた女たち』I・II・III集



2005年刊



2011年刊



2019年刊

掲載人物の選定基準

- ・1868年以降現代まで神奈川県にゆかりの女性で、故人に限る
- ・1893年までは神奈川県だった三多摩地方（現、東京都）の人物を含む
- ・生没年、出生地、学歴、本名、旧姓、別称、墓所などの基本事項と活動歴
- ・有名な人だけでなく、埋もれている人を発掘
- ・政治家、教育者、作家・画家などの表現者、俳優、社会運動家、社会事業家
医療従事者、宗教家など、広い分野の人物
- ・県内全域に目配りして選定
- ・Ⅰ、Ⅱ集は江刺昭子＋史の会編著だが、会員の変更があり、Ⅲ集のみ江刺昭子＋かながわ女性史研究会編著

資料収集と取材

- ・資料収集から始める。
- ・地域の資料は地域に手がかりがある。国会図書館、専門図書館、資料館、地域の図書館の郷土コーナーなど
- ・人物辞（事）典の類を調べる。図書館には各種の人名辞典がある。紳士録から夫の経歴、古い電話帳から住所が判明することもある
- ・ネットサーフィンをしていると、関係論文やブログに出会うことがある
- ・住所や関係場所を歩くと、対象人物を知っている人に出会うことがある
- ・墓所がわかったら、お参りして没年月日などを確かめる
- ・遺族の住所がわかったら、手紙を出してアポイントをとり、会いに行く
- ・遺族からは、手に入りにくい私家版の本や写真を借りる。貴重な資料を提供されることもある

掲載人物の特徴

- ・明治時代、自由民権運動が盛んだったので、関係した女性が一定数いる
- ・キリスト教女性宣教師と教え子たちが女子教育に尽くしている
- ・キリスト教系の社会事業家（慈善事業家）が地域で献身
- ・横浜では、貿易商の妻の社会活動が活発
- ・反体制の女性運動は低調だが、廃娼運動や反基地運動は実績がある
- ・戦前は、川崎、鶴見地域の京浜工業地帯を中心に労働運動が活発
- ・鎌倉を含めた湘南地方に作家、画家、俳優などの表現者が多い
- ・政治家は、国会、地方議員とも他地域より割合は高い
- ・実業家、経営者は少ない
- ・少数だが、農家の主婦、紡績女工などの生活者を含む

江刺昭子＋史の会編著 『時代を拓いた女たち—かながわの131人—』（第Ⅰ集）

2005年4月 神奈川県新聞社 四六判300ページ
（掲載人物）

秋元松代 浅見ハナ 足立原マサ 厚木たか 吾妻光 阿部クニ 阿部ケイ 五十嵐ハル 石川ふさ 石阪美那子 石渡満子 伊東静江 伊藤銚子 伊藤野枝 稲垣きくの 稲垣寿恵子 井上房江 岩崎春子 岩淵百合 ヴァンペテンカロライン 薄井こと 梅田ナカ 梅津はぎ子 江口章子 江守節子 大館可免 大野英子 大橋シゲ 岡野貴美子 岡本かの子 岡本花子 奥津久恵 小倉ミチヨ 小倉遊亀 長田かな子 小沢路子 風戸須賀 加藤梅子 神近市子 川喜多かしこ 川崎弘子 川田定子 菊池ミツ キダーメアリー 北畠八穂 北林余志子 衣川孔雀 桐山イソ 久保田寿枝 黒川フジ 小林礼子 衣川舜子 榊原ツマ 坂倉スミ 桜井キン 佐々城信子 ささきふさ 颯田本真

『時代を拓いた女たち—かながわの131人—』（第I集）

（掲載人物 続き）

佐藤美子 沢田美喜 朱絃舎浜子 城ノブ 杉田鶴子 鈴木ピアトリス
須田開代子 積しな 高木鐸 高田敏子 高松ミキ 竹腰美代子 辰巳
浜子 丹波美佐尾 千葉キク子 土田康 土志田和枝 中里恒子 中根
澄子 新名百刀 二宮ワカ 野沢節子 パヴロバ エリアナ 萩原タケ
朴敬元 長谷川時雨 林喜代子 林貞子 葉山ふゆ子 葉山三千子 早見
一十一 原モト ピアソン ルイス 平塚らいてう 平沼千代子 平野恒
子 広津桃子 フィンチ エステラ 深沢淑子 福田英子 星野立子 牧
野よし 真杉静枝 松尾トシ子 松川サク 馬淵テフ子 丸エキ 美空ひ
ばり 宮本せつ子 村井米子 メール・マチルド 望月たか子 粂山サク
森律子 諸節トミエ 山川菊栄 山口スエ子 山口富美子 山田千代 山
田わか 山本コマツ 山本安英 湯本アサ 養老静江 横川楳子 吉田セ
イ 吉野登美子 吉屋信子 若松賤子 渡辺たま 渡辺はま子 和辻照

江刺昭子＋史の会編著

『時代を拓いた女たち—かながわの111人—』（第II集）

2011年6月 神奈川新聞社 四六判270ページ

（掲載人物）

秋間為子 浅野サク 浅葉スミ 飯沼フジ 井口小夜子 石川すず 石川
雪 石橋志う 市野キミ 上原とめ 大江美智子 太田静子 大藤ゆき
大村はま 小笠原のぶを 小川玉子 沖津くら お龍 賀川ハル 片岡球
子 亀高文子 川上喜久子 川西田鶴子 河原操子 カンヴァース クララ
キク・ヤマタ 岸田麗子 草山朝子 葛生志ん 久保田真苗 ゲイマー康子
九重年支子 小桜葉子 小谷喜美 小南ミヨ子 坂井泉水 榎原千代 坂
西志保 指田静 佐藤金代 佐藤哲 沢村貞子 ザンダー ヘレン 四賀光
子 芝山みよか 島崎静子 清水きん 荘司福 杉原幸子 鈴木俊子 鈴
木トヨ 鈴木ナカ 鈴木芳如 鈴木ルリ子

『時代を拓いた女たち—かながわの111人—』（第II集）

（掲載人物 続き）

高木君 高杉幸子 高橋展子 田口安起子 武田百合子 田中絹代 田中君枝
田沼志ん 田村俊子 藤間身加栄 時田田鶴 土光登美 所美都子 十時
延子 ドレーパー シャーロツテ 内藤千代子 中倉千鶴子 中村キヌ
中村テル 七々扇小橋 新妻伊都子 西川千代 野村ミチ ハジス オリブ
久野タマ 尾藤朋子 平岡静子 平野藤 富貴楼お倉 ブリテン ハリエッ
ト 古屋満寿 紅沢葉子 ベルトラメリ能子 星野あい 本多マサオ 牧
羊子 松島彝 三浦澄子 三角錫子 溝上泰子 三淵嘉子 三村千代子
三宅春恵 宮地淳子 陸奥イソ 村木キヨ 室原富子 望月富士子 森田
美知子 八木橋きい 安井かずみ 山川えん 山口小夜子 山代巴 山田
寿子 与謝野晶子 渡辺幽香

江刺昭子＋かながわ女性史研究会編著

『時代を拓いた女たち—かながわの112人—』（第III集）

2019年4月 神奈川新聞社 四六判300ページ

（掲載人物）

足立原つる 足立原美枝子 天野八重 池田重子 石川ハナ 市川泰子
井上常子 入江麻木 岩本えり子 江見絹子 遠藤キン 大石尚子 大久
保さわ子 大沢サダ 大沢りう 大島富士子 大槻勲子 大森文子 岡本
弥寿子 小黒恵子 小沢章子 勝又喜美子 加藤豊世 金森トシエ 兼高
かおる 加納実紀代 樹木希林 城戸順 桐竹智恵子 楠目ちづ 黒川万
千代 郷静子 合田佐和子 小林フミ子 米須美恵 コンウォール・リー
メアリー 近藤いね子 坂本真琴 佐々木晴子 佐竹くま子 佐藤治子 志
熊敦子 篠原あや 下田栄子 生野文子 白石敬子 菅寿子

『時代を拓いた女たち—かながわの112人—』(第Ⅲ集)

(掲載人物 続き)

菅原絹枝 角倉嗟峨 関淑子 相馬黒光 相馬翠 征矢泰子 高崎節子 高田喜佐 高橋たか子 田崎泰子 田中参 田村総 塚本なか子 壺田花子 遠山美枝子 徳沢隆枝 戸倉ヤマ 戸塚文子 富田レイ 名倉淑子 根岸春江 野沢富美子 長谷川栄 長谷川トリ 浜田イシ 浜田糸衛 林京子 端山慶子 原節子 バラ(ベントン) リディア 比企キヨ 菱川ヤス 日野綾子 福井桂子 古谷糸子 ヘボンクララ 堀文子 本田玉江 本田ナミ 松岡鎮枝 マッカーシー ノブ 松方珠英 松坂はな 松崎浜子 松田瓊子 松本喜美子 馬淵和子 三岸節子 聖園テレジア 三宅節子 宮下操 村井多嘉子 毛利道 本居若葉 盛キヨ子 森田愛子 森秀子 門馬千代 山口定子 山田順子 吉野ゆりえ 吉野りう 米原万里 若山美子 渡辺道子

Ⅱ集・Ⅲ集は『神奈川新聞』に連載



「史の会資料」を女性アーカイブセンターに寄贈するまで

- 1990年代から地域女性史で収集した資料の保存、公開が問題になる
- 1998年、「第7回全国女性史研究交流のつどい in かながわ」で「女性史資料の保存・公開についてのアピール」を採択、全国の自治体に要望
- 以後、史の会は、かながわ女性センターに女性史資料室の設置を要求
- 2001年からセンターの移転問題が起こる
- 2014年8月、センター図書館に『時代を拓いた女たち』Ⅰ、Ⅱ集の資料と電子データ目録を寄贈
- 2015年、センターの本体は8分の1に縮小移転。図書館は県立図書館に移管
- 2016年、当会資料は、県立男女共同参画センター(かなテラス)に再移管
- NWE Cの女性アーカイブセンターでは、寄贈は原則として全国的に影響を持つ資料に限るということだが、資料の整理とデジタル目録データの入力を史の会がすることで2022年4月に寄贈が決定

女性史資料の保存・公開についてのアピール

一九九八年
「第7回全国女性史研究交流のつどい in かながわ」にて

女性史資料の保存・公開についてのアピール

「第七回全国女性史研究交流のつどい」の「地域女性史」分科会で学習・研究交流を深めた私たちは、行政に対し、次のように要望いたします。

近年、地域女性史を記録に残そうという動きが全国各地で広がっています。ときには行政も支援し、都道府県・市・区町村・市民・専門家が協力し合い、あるいは手づくりの自費出版のものなど、一九九八(平成一〇)年現在、約五〇〇点もの刊行物が編まれているにたつて、(当つどい「地域女性史」分科会調べ)。

しかし活字になることも、語られることも少なかった女たちの歴史は、資料となるものもまたわけて稀でした。したがって編纂にあたる者たちが、ぼう大な努力を費やし集めた資料・写真類などは、女性史にとつてはもとより、日本の歴史にとつても貴重なものといえます。

にもかかわらず、女性史編纂・出版後は、それら収集した資料が散逸してしまいがちなことに、ここにたつた私たちは深い憂慮の念をいだいています。

私たちは、国・地方自治体に次のことを要望いたします。

自治体および民間のグループ・個人が収集した地域女性史の貴重な資料の散逸を防ぐため、資料の整理・保存・目録の作成をし、整理された資料を、必要とする団体・個人が、だれでも使用できるように常設する場を設け、公開すること。

一九九八年九月六日

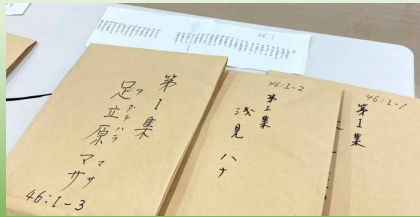
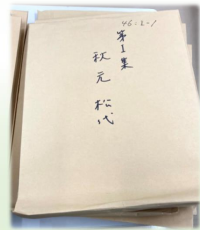
第七回全国女性史研究交流のつどい 参加者一同

『史の会研究誌 第五号』資料1

資料整理



ヌエックへの発送



ヌエックのデータ整理基準による目録入力 46: 3-39 佐々木晴子関係資料 内容細目

雑誌『種時く人』コピー/ザッシ タネマク ヒト コピー/種時き社/1923.03
 黒田あい、佐々木晴子取材テープ起こし/クロダ アイ ササキ ハルコ シュザイ テープ オコシ/
 江刺昭子/1972.12.23
 佐々木晴子宅地図コピー/ササキ ハルコ タク チズ コピー//2018.11
 野嶋恭さん、珠子さん、取材メモ/ノムラ キョウ サン タマコ サン シュザイ メモ/江刺昭子/
 2018.11.20
 「日本で初めての国際女性デー」：機関誌『婦人通信』ゲラ/ニホン デ ハジメテ ノ コクサイ
 ジョセイ デー：キカンシ フジン ツウシン ゲラ/江刺昭子/1998.02
 佐々木晴子情報カード/ササキ ハルコ ジョウホウ カード/かながわ女性史研究会/
 金子発 小野静枝宛書簡コピー/カネコ ハツ オノ シズエ アテ ショカン コピー//
 江刺昭子発 野嶋恭宛書簡控/エサシ アキコ ハツ ノジマ キョウ アテ ショカン ヒカエ/
 2018.11.12
 野嶋恭発 江刺昭子宛書簡/ノジマ キョウ ハツ エサシ アキコ アテ ショカン/2018.11.21
 佐々木晴子の写真、学生時代と晩年/ササキ ハルコ ノ ヤシン ガクセイ ジダイ トバンネン/
 野嶋恭 (提供) /2018.11

46: 3-78 比企キヨ関係資料 内容細目

図書『金目の地域から大志を拓く 一金目の自由民権運動一』/トショ カナメ ノ チイキ カラ タイシ
 オ ヒラク カナメ ノ ジュウミンケン ウンドウ/平塚市博物館/2002. 10. 19
 図書『清き香り』(比企清名誉園長記念追憶文集)コピー/トショ キョキ カオリ ヒキ キヨ メイヨ エ
 ンチョウ キネン ツイオク ブンシュウ コピー/日本基督教団平塚教会附属平塚二葉幼稚園理事会/
 1965. 09. 15
 「自由民権の志士水島保太郎」：図書『二宮の昔ばなし』コピー/ジュウミンケン ノ シシ ミズシマ ヤ
 スタロウ：トショ ニノミヤ ムカシ バナシ コピー/二宮町教育委員会/1981. 03
 水島保太郎関連資料：図書『神奈川県史 別編1 人物』コピーなど/ミズシマ ヤスタロウ カンレンシ
 リョウ：トショ カナガワ ケンシ ベッヘン 1 ジンブツ コピー ナド/神奈川県史編集室編/1983. 03
 比企キヨ戸籍：文書「水島克己家文書」水島道太郎戸籍コピー/ヒキ キヨ コセキ：ブンショ ミズシ
 マ カツミケ モンジョ ミズシマ ミチタロウ コセキ コピー/神奈川県中郡吾妻村//
 文書「『伊達時日記』より比企キヨ氏に関わる部分の抜粋」/ブンショ ダテ トキ ニッキ ヨリ ヒキ キ
 ヨ シ ニ カカワル ブン ノ パススイ/二宮町教育委員会教育部生涯学習課/2018. 03. 28
 「思い出」：記念誌『創立五拾周年記念誌』(神奈川県立平塚盲学校)コピー/オモイデ：キネンシ
 ソウリツ 50シュウネン キネンシ カナガワ ケンリツ ヒラツカ モウガッコウ コピー/比企きよ/1960
 「平塚茅ヶ崎の三日間」：雑誌『婦人新報』コピー/ヒラツカ チガサキ ノ 3カカン：ザッシ フジン
 シンポウ コピー/みどり/1919. 06. 12
 「「勝利の連続 勝鬨はまたも湘南の地に 一平塚支部二葉地反対運動に勝つ」」：雑誌『婦人新
 報』第39号コピー/ショウリ ノ レンゾク カチドキ マタモ ショウナン ノ チ ニ ヒラツカ シ
 プ ニギョウチ ハンタイ ウンドウ ニ カツ：ザッシ フジン シンポウ ダイ39ゴウ コピー/比企
 清子/1930. 10. 01

比企キヨ関係資料 内容細目 (続き)

図書『ふたば 二葉幼稚園50年のあゆみ』コピー/トショ フタバ フタバ ヨウチエン 50ネン
 ノ アユミ コピー/平塚二葉幼稚園/1975. 09
 比企夫妻、家族の写真コピー/ヒキ フサイ カゾク ノ シャシン コピー/森光世 (提供) //
 「日本基督教婦人矯風会と廃娼運動」博士論文和文要旨：ウェブ「東京外国語大学学術成果コレク
 ション」HPコピー/ニホン キリストキョウ フジンキョウフウカイト ハイショウ ウンドウ ハカセ
 ロンブン ワブン ヨウシ：ウェブ トウキョウ ガイコクゴ ダイガク ガクジュツ セイカ コレクシ
 ョン ホームページ コピー/楊善英/2005. 12
 「美善教会と廃娼運動」：ウェブ「横浜プロテスタント史研究会」HP会報No. 49コピー/ミフ キョウ
 カイト ハイショウ ウンドウ：ウェブ ヨコハマ プロテスタントシ ケンキョウカイ ホームページ
 カイホウ ナンバー 49 コピー/中井幸夫/2011. 11. 01
 「イマカナ 時代を拓いた女たち9 地域に尽くした民権家の娘」：『神奈川県新聞』切り抜き/イマ
 カナ ジダイ オ ヒライタ オンナ タチ 9 チイキ ニツクシタ ミンケンカ ノ ムスメ：カナガワ
 シンブン キリヌキ/星賀典子/2018. 03. 12
 比企キヨ年譜/ヒキ キヨ ネンブ/星賀典子/2013. 01. 07
 「比企喜代助 教育支援を貫いた理想家」：図書『平塚ゆかりの先人たち』改訂稿/ヒキ キヨスケ
 キョウイク シエン オツラヌイタ リソウカ カイテイコウ：トショ ヒラツカ ユカリ ノ センジン
 タチ カイテイコウ/星賀典子/2019. 09. 30 (2022改訂)
 「比企キヨ キリスト者の愛は行動すること」：図書『平塚ゆかりの先人たち』改訂稿/ヒキ キヨ
 キリストシャ ノ アイ ワ コウドスル コト：トショ ヒラツカ ユカリ ノ センジン タチ カイ
 テイコウ/星賀典子/2019. 09. 30 (2022改訂)

ヌエックのデータ整理基準による目録電子データの入力

46：3-78 比企キヨ関係資料（部分）

寄贈資料の内訳

I 集 131人 1110点
 II 集 111人 992点
 III 集 112人 1055点 計 3157点

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
1	総録(差分更新)用	txtファイルとして保存するときは、2行目から4行目までの項目行を含まない、登録データ入っている行のみを別ファイルにコピーしてtxtファイルで保存してください、コピー方法:の検索シート保護解除の2行目からデータ入																	
2	請求記号	資料群	小資料群	小資料群	件名	件名ヨミ	内容項目												
3	請求記号	資料群	資料群	資料群	件名	件名ヨミ	内容項目												
4	請求記号	資料群	資料群	資料群	件名	件名ヨミ	内容項目												
5																			

- ・ 図書、雑誌、冊子、新聞記事切り抜き、研究誌、広報紙、タウン誌、パンフレット、ミニコミ誌、ポスター、チラシ、ウェブ記事、地図、情報メモなどの紙類。その全部、あるいは一部のコピーなど、雑多で、多様な形態の資料。コピーが最も多い
- ・ インタビューや聞き書きのテープと、それを文字起こしたもの
- ・ 遺族や関係者の手紙・葉書など書簡
- ・ 本人、あるいは関係者の写真、そのコピー
- ・ 最も点数が多いのは、I集の「ささきふさ関係資料」で66点

I 集の資料点数

II 集の資料点数

請求記号46-1-1		掲載人物番号（下記表）										（単位点）	
10の位	1の位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
0		6	5	5	9	12	4	5	3	16	14	79	
1		5	6	9	6	10	3	6	8	10	6	69	
2		5	5	8	6	8	7	8	10	11	4	72	
3		2	1	4	10	10	10	8	16	8	5	74	
4		8	9	43	6	3	11	16	33	4	2	135	
5		7	3	9	7	4	7	6	66	6	5	120	
6		3	4	7	4	4	9	17	12	2	12	74	
7		4	5	9	2	8	11	10	17	5	17	88	
8		8	11	4	2	9	4	3	8	29	7	85	
9		11	6	5	9	7	9	9	3	9	8	76	
10		4	5	19	17	4	9	15	10	8	5	96	
11		9	4	3	5	9	7	7	8	4	4	60	
12		11	9	10	5	8	5	4	6	11	5	74	
13		8										8	
												合計	1110

請求記号46-2-2		掲載人物番号（下記表）										（単位点）	
10の位	1の位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
0		6	11	10	5	12	11	16	11	3	14	99	
1		9	7	8	10	11	18	7	15	5	15	105	
2		10	9	10	4	7	3	12	2	6	11	74	
3		9	6	7	6	7	26	3	8	5	12	89	
4		2	9	4	12	11	7	4	17	9	18	93	
5		8	6	9	7	6	4	2	10	11	9	72	
6		15	8	14	14	13	5	6	4	10	11	100	
7		3	10	15	4	5	20	9	5	5	9	85	
8		4	7	9	6	8	24	22	4	4	20	108	
9		12	7	3	1	6	10	17	5	2	8	71	
10		10	3	6	4	16	4	15	12	7	8	85	
11		11										11	
												合計	992

Ⅲ集の資料点数

請求記号46-3-		掲載人物番号 (下記表)										(単位点)	
1の位 10の位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
0		3	6	9	4	5	7	7	4	11	12	68	
1		5	9	6	6	13	7	7	18	13	34	118	
2		8	8	5	10	8	12	14	5	22	15	107	
3		8	7	5	10	12	8	3	7	10	4	74	
4		3	5	10	14	6	17	11	8	6	3	83	
5		3	20	8	3	4	10	7	15	8	3	81	
6		32	6	5	20	6	9	7	4	18	7	114	
7		3	28	3	12	17	11	3	17	8	5	107	
8		8	13	3	10	5	4	7	3	5	9	67	
9		3	6	29	5	24	5	1	7	6	6	92	
10		10	20	8	30	8	5	34	9	7	3	134	
11		4	6									10	
												合計	1055

『時代を拓いた女たち』から



二宮ワカ
ドレーパー マイラ
稲垣寿恵子
ドレーパー シャーロツテ



若山美子



三岸節子



ささきふさ、吉屋信子

もともと少ない女性の資料を何十年もかけて掘り起こしたものが、所蔵者やグループの事情で、むざむざ散逸、廃棄されるのを見てきました。図書館や地域の男女共同参画センターは、民間の研究者による地域女性史の資料の保存問題にはほとんど無関心。長年、行政に女性史のアーカイブス設置を求めてきましたが、かないませんでした。このたび、雑多で、大量の「史の会資料」を女性アーカイブセンターが受け入れて下さったことに感謝すると同時に、これをきっかけに地域女性史資料の保存・公開・再利用が進むことを心から願います。

国立女性教育会館2022年度 女性アーカイブ研修 2023. 01. 10
実践報告：史の会 史の会代表 江刺昭子
esashi-o@yg7. so-net. ne. jp

史の会と神奈川県内の女性史研究グループの活動を
紹介するホームページがあります
訪ねてみてください

かながわ女性史研究会 HP <https://kanagawa.joseishi.jimdofree.com/>

ありがとうございました

